



学習会を開催しました

2013年4月13日、鳥山区民センター第6会議室において、「真実はどこに？—WHOとIAEA 放射能汚染を巡って—」の映画上映と感想・意見交換を行いました。21名の皆様に参加いただきました。

WHO 世界保健機関と IAEA 国際原子力機関が共同で開催した、2001年キエフ国際会議の様態を伝えた、「フェルダ・フィルム・スイス」によるとても貴重なドキュメンタリー映画でした。

冒頭、被曝した子どもたちの膠原病等にさいなまれている姿に胸が痛みました。

チェルノブイリ原発事故のあった1986年から5年間、人々の健康を守るべきWHOがチェルノブイリの現場に不在でした。

バーゼル大学のミシェル・フェルネックス医学博士は、WHOとIAEAの癒着を告発しています。1959年に両者が調印した協定で、WHOが健康被害の実態を調査をすることが禁じられたのでした。

1995年当時のWHO事務局長、中嶋宏博士は700人の医師や専門家を集めてチェルノブイリに関する国際会議を開いて情報を広めようとしたが、議事録はIAEAの妨害によって一切



発表されなかったとのこと。チェルノブイリの真実が知らされれば原子力産業の推進に大打撃となるからです。

チェルノブイリから直線距離で80キロに住む若い女性は、抱きかかえた男の子が生まれつき奇形児で、敗血症と化膿性脳膜炎を患っていると話をしていました。

子どもが高血圧、脳卒中、脳梗塞等を患うのは異常です。しかし、このような成人

特有の疾患が今、子どもたちを襲っているのです。

問題は国連でこれらの統計を入手できないこと。どの政府もデータを送ってこないのです。国連の公式な統計がなくては何もできません。

体内に取り込まれたセシウムが健康を害するというこの会議で表明された新しい科学的知見は、最終決議文には盛り込まれませんでした。裏面へ続く

映画の詳細は、当会のホームページに掲載していますのでご覧ください

世田谷エネルギーシフト55パレードに参加しました

5月6日、「三茶しゃれなあどオリオン」にて開催された世田谷エネルギーシフトの集会、及びパレードに3名で参加しました。

集会には実行委員会参加団体のほか、賛同団体が集まり、保坂



世田谷区長や会派を問わない議員さんたちも参加して行われ、宣言文を確認してパレードが行われました。飛び入り参加の当会も挨拶を求められ、連帯の挨拶を行いました。

6.2NO NUKES DAYのお知らせ

- ・原発ゼロをめざす中央集会
明治公園 11:00～ブース、
13:00～集会、14:00～デモ
- ・6.2つながろう福島！さようなら原発集会
芝公園 13:00～集会、14:45～デモ
- ・首都圏反原発連合
国会大包围 16:00～国会前大集会 17:00

さようなら原発！烏山地域の会の参加予定
16:00～国会大包围に参加
17:00～国会前大集会に参加

集合場所:丸ノ内線霞ヶ関駅A10出口付近
集合時間:16:00

11時からの明治公園ブースと13時からの集会とデモ、13時からの芝公園集会とデモについては各自自由参加とします。

学習会のお知らせ

日時:2013年6月16日(日)13:30～16:00
場所:烏山区民センター第7会議室
内容:映画「シェーナウの想い」観賞と話し合い

ドイツの小さな村で、原発の電力会社ではなく、自分たちで電力会社をつくったお話です。最近では、日本においても、多摩や小田原、静岡で、こうした動きが出ています。参加費は無料です。

都議選、参院選

6月23日都議選投票日

7月21日参院選投票日

一人でも多くの方々に訴えて、脱原発を掲げる候補の大きな前進を勝ち取りましょう。

会員の皆様へのお願い

今後、当会のウェブサイトを積極的に活用して情報発信をしたいと思いますが、あわせて、メールを活用した情報発信も行いたいと思います。については、アドレスを把握するため、下記の当会メールアドレスに発信してください。

nonukeskarasuyama@gmail.com

「真実はどこに」学習会での意見交換

- 名張ブドウ事件の映画を見た。仲代達也、希林さんが出演した映画だ。この映画を見て、構造的には全く同じだと思った。科学者も説明の論理を持ち合わせていない。福島の子どもたちに影響が出ているが、日本全体があのようなにならない保証はない。WHO や IAEA も組織を運営するのは人だということ。事実を発信する映像の力を感じた。彼らにも良心はかろうじてあるはずだ。
- 「信じる者には説明は不要、信じない者には説明は無駄だ」と平然とうそぶく。科学的に証明されないものは無意味というが、福島では子どもたちにも「被曝による異常」が現れ始めている。
- 国連でも IAEA は特別な機関だ。関連機関という別枠で入っている。企業との癒着が強い。信じることは危険。原子力産業を進めるために規制している。
- 論文に書いてあることは確かだ
- と思う。事実だろうと思うが、そうではない見方をする人もいる。日本物理学会機関紙の中に、低線量の被曝は生体を活性化させるという論文がある。これを認めてしまう人がいる。恣意的人々によって委員会が構成されている。
- IAEA が調査に来て帰ったが信用のおけない組織だ。週刊朝日で特集を組んだ。東京大空襲、戦後の補償は終わったと高校教科書には書いてある。日本中すごい被害を受けたのに。
- 「福島の子どもたちとともに世田谷の会」で活動している。4回目。区が宿泊施設を提供している。今年伊達市、郡山からも参加。中1くらいまでで、親子で参加している。砧公園の桜の下で遊んで帰った。900万人の人が被害を受けた。自分小名浜が実家。いわき市の仮設住宅に3万人がいる。甲状腺被害3人、疑い7人、外で遊ばせられない。成長にも影響が出ている。偏平足とか。

- 佐藤知事は会津に行くとき一人5000円出すが県外に行くとき出さない。福島に住まわざるを得ない人もいる。
- 国連は信用できなかった。核大国の利益で動いている。科学者の責務はどこにあるか。IAEA と WHO の協定とは何か、データはあるが政府は出さないというが、出させるようにすべき。
- 映画「福島のウソ」東電・国が出したがるらないことをドイツの記者がインタビューしたものの。佐藤栄佐久前知事が汚職で辞めさせられたのも放射能に反対したからで濡れ衣だった。
- 広島長崎は草木も生えないと言われたがそうでもなかった。
- それは福島で放出されたウラン量が格段に多い事、広がった汚染地域が広域であることなど、条件の違いがある。

等々、紹介しきれないほど多くの意見が出されました。次回の学習会、もっと多くの方の参加を！